

始業式にあたり、
先ほどは心温まる、新任式を本当にありがとう。
土居中魂に従った、美しい行動をありがとう。

今もしっかりと目をあげて、私を見つめてくれています。
たったそれだけで自分が認められているようなそんな気持ちになります。
この一瞬にも この凜とした空気からも 先輩方から、しっかりと引き継がれた 魂
これも、土居中魂なのだろうかと教えてもらっているような気がしています。

また 出会えて良かったなと心から思っています。

始業式にあたり、
土居中魂 について今一度考えてみたいと思います。

「魂」とは、私が思うに、
言葉と行動をつかさどるもの、と思っています。
「心の声、叫び」こうしよう、と思わなくても、その行動をとるとき、
人は、魂に従って、行動しているというのだと思います。

例えば、「魂の一球」とか「魂の一本」「魂の一曲」とか

魂は、見えません。
例えば、この透明のボールのように、身体のだ真ん中にあるのに見えない。

土居中魂に従った言葉とは、
人を幸せにする言葉、人を笑顔にする言葉、伸ばす言葉、尊敬した言葉
行動とは
これもまた、人を幸せにする行動、笑顔にする行動、伸ばす行動、尊敬した行動

鍛えるためには、磨くためには、未熟である魂を育てるためには
まず、知ること。だから土居中の学びを続けよう。
自分の中の過ちを、認めること、変えていくこと。

本物の土居中魂に満ちた、さらに素晴らしい、大好きな土居中をみんなで創っていこう！！

令和6年4月8日 始業式によせて 土居中学校校長 合田 泰之